

日 方 川

大樹高校PTAだより

第 138 号

令和7年10月1日発行

発行人 鈴木 和昭

編集人 西尾 良太

櫻井健一郎

矢木 康嗣

「PTA抱負」

PTA会長 鈴木 和昭

このたび、令和7年度PTA会長を務めさせていただくこととなりました。鈴木です。

保護者の皆さま、そして先生方におかれましては、日頃より本校の教育活動ならびにPTA活動に多大なるご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

私は本校の卒業生でもあります。在学当時は一学年に三クラスずつ、およそ三百六十名以上の生徒が在籍し、校舎や校庭は常に活気に満ちておりました。現在は当時と比べてずいぶん小さな規模となりましたが、その分、一人ひとりの生徒がより大切にされ、きめ細やかな教育が行き届いていると実感しております。人数が少ないからこそ生まれる「顔の見える関係性」や「温かな絆」こそが、今の本校の強みであると私は考えております。子どもたちは、先日の高体連や学校祭とい

「子育てについて」

校長 高橋 豊



子育てについて、親は誰もが、自分の子どもはすこやかで立派な人間に成長してほしいと願う一方、子育ての大切さ、難しさは、体験を通して、

多くの人が肌で感じています。

人間の赤ちゃんは、他の哺乳動物に比べて、極めて無能な状態で生まれてきますが、広い意味での学習を通じて、他の動物にはない能力を獲得していきます。

赤ちゃんの「笑い」は、生後二か月の頃から始まるそうです。あやせば小さいながらも笑みの表情を浮かべて喜びます。みなさんもきっと、一生懸命あやしてあげたのではないのでしょうか。「あやす」ことによって、笑みを引き出したのです。生後二か月での能力・知恵は、大人になっても心に脈打っているのです。

英語の「エデュケーション」(教育)は、ラテン語の「エドゥカレ」に起源があり、「子どもの内面にある能力を外に引き出す」とい

った大きな行事を無事に終えました。仲間と力を合わせて挑戦する姿からは、大きな成長と頼もしさを感じることができました。三年生にとっては、進学や就職に向けて大きく舵を切る大切な時期に差しかかっており、私たち大人も温かく見守り、しっかりと支えていきたいと思えます。こうした日々の積み重ねが高校生活を豊かにし、将来につながる大きな糧となると思います。

ここで本年度のPTA活動も後半にさしかかりました。これからの活動も、皆さま一人ひとりのお力添えが欠かせません。行事や研修の場への参加はもちろん、ちよつとしたお手伝いやアイデアの提供など、関わり方はさまざまです。無理のない範囲で少しずつお力をいただければ、それが大きな力となり、子どもたちの安心と成長を支える礎となります。どうか引き続きのご協力をよろしくお願い申し上げます。

子どもたちが笑顔で学び、力強く成長できるように、皆さまと共に歩んでまいりたいと存じます。今後とも温かいご理解を賜り、変わらぬご支援をお願い申し上げます。ご挨拶といたす意味です。

人間の生き方、ありようは、家庭という場を通して、親から子へ、子からその子へと伝承されます。その代表的なものが「しつけ」です。「しつけ」を漢字で書くと「𠂔」(「身」と「美」の合成語です。「𠂔」には、礼儀・作法を仕込むという意味があります。醸造業ではこの仕込みが一番大切で難しいと言われています。仕込みが悪いと良い物はできません。

「親の後ろ姿を見て子は育つ」との名言。子どもは親の姿勢を、無意識に自然のうちに身につけています。動物の世界には人間のようない言語がありません。厳しい環境の中で生きていかなければならない動物の子どもにとって、厳しい親の仕込みは必須です。ところが人間の場合、二十年前後の歳月をかけて、ようやく働いて自立の道を歩み出します。子どもが大人へ成長する高校生のこの時期、改めてこの時期の教育や指導について考えてみませんか。とりとめのないお話を深め、健全育成に努めたいと考えております。ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

「高校に入学して」

一年A組 矢木明日香

四月、高校ではどんなことが待っているのか、どんな人がいるのか楽しさと、期待と胸に大樹高校に入学しました。私には不安もないわけではありませんでした。私のクラスメイト十人は同じ中学校からあがってきましたが、あとの十三人は違う中学校の生徒でした。なので、これからクラスの人たちとなじめるのかなと思いました。それでも私はクラスの人たちと仲良くなりたという気持ちで話しかけました。そのおかげでクラスの人たちとしやべったり、仲良くすることができました。私をもっと挑戦できることはないかと思ったのが学級委員長でした。ですが、私は学級委員長になる気は最初はなかったのですが、学級委員長になりたい人がいませんでした。私はこのチャンスをものにしたいと思い学級委員長になりました。これから学校生活でも学級委員長のチャンスをものにし、学級委員長をやってよかった、チャンスが無駄にしないでよかったと思う学校生活を送っていけるように頑張りたいです。



第 78 期 入学おめでとう



『大高祭』の様子

「学校祭を終えて」

一年A組 高橋穂乃実

今年の学校祭では、私は垂れ幕を描く役割を担当しました。思ったより大変で、時間もかなり正直疲れましたが、自分の作品がみんなの目に触れると思うとやりがいを感じました。文字の配置や色合いを工夫しながら描いていくうちに、少しずつ完成に近づいていくのが嬉しく、達成感も味わえました。当日は、さまざまな学年のパフォーマンスを見ることで、とても楽しかったです。どの発表も個性があつて、歌やダンス、劇などそれぞれの魅力が表れており、みんなが一生懸命準備してきたことが伝わってきました。自分が携わった垂れ幕も、その雰囲気の一部になったと思うと嬉しかったです。学校祭を通して、仲間との協力や一体感を改めて実感でき、疲れたけど充実した時間でした。この経験を大切に、これからも学校生活でさまざまなことに挑戦し、頑張りたいと思います。

「学校祭を終えて」

二年A組 大林 結衣

私は、学校祭を終えて二つのことを学びました。一つ目は、計画力の大切さです。私たちの学年はテーマをギリギリになってから変更したので少し揉めてしまいました。期限ギリギリで何かしようとするとなかなか人に迷惑をかけてしまうので、早めに計画をし、準備をした方がいいと思います。

二つ目は、協力することの大切さです。今年は自分の仕事が終われば部門など関係なく他の場所を手伝いに行く人が多かったです。そのおかげで一年生の時より良い作品や出し物ができました。来年も続けられることができたらいいなと思いました。色々なことがありましたがクラス全員で学校祭を楽しめたと思います。来年は三年生で最後の学校祭なので学んだことを活かし、楽しい思い出をつくれるよう頑張りたいです。

「学校祭を終えて」

三年A組 大林 陽柚

高校生活最後の学校祭は、これまでで一番楽しく、そして達成感のあるものになりました。

準備期間中、私は担当の係を二つのチームに分けて、効率よく作業を進めることを目指しました。しかし、進行状況の把握や必要物品の確認、シフト調整など、想像以上に大変なことも多く、何度も計画を立て直す必要がありました。うまくいかないときには不安や焦りもありましたが、そんな中でも担当の作業が終わった人たちが「何か手伝おうか？」と声をかけてくれたり、作業中に笑い合う場面があつたりと、苦労だけでなく楽しさもたくさんありました。準備期間中だけでもクラスの一体感が深まっていくのを感じました。

本番では、全員が自分の役割をしっかり果たしながらも、それぞれの場所で全力で学校祭を楽しんでいる姿がとても印象的でした。この学校祭を通して、何度も話し合うことの大切さや、一つの目標に向かって協力し合う中で信頼関係が深まっていくことを実感しました。こうした経験を通して、学校祭はただの行事ではなく、仲間と本気で向き合い、協力し合うことで人としても成長できる、大切な機会だったと感じました。この学びは、これからの学校生活や将来にもきっと生かせるとおもっています。



令和7年度PTA役員

四 役

会 長	鈴木 和昭 (3年)
副会長	面尾 良太 (2年)
副会長	川村眞登香 (1年)
副会長	高橋 豊 (校長)
会 計	高野 晴美 (1年)
会 計	桐生 俊也 (事務長)
監 査	櫻井健一郎 (3年)
監 査	矢木 康嗣 (1年)

事務局

事務局長	田中 裕子 (教 頭)
会 計	桐生 俊也 (事務長)
事務局員	吉田 佑輔
	林 昭宏
	南部 玲生

学年部・事業部各担当

事業部長	面尾 良太 (2年)
学年部長	大橋 渚 (1年)
	石原優一郎 (2年)
	坪 幸子 (3年)

	総務担当	生活担当	研修担当
主担当	面尾 良太	川村眞登香	高野 晴美
	櫻井健一郎		
	矢木 康嗣		
1 学年	田中久美子	柚原 大作	大橋 渚
2 学年	大林 将秀	坂本奈緒美	石原優一郎
3 学年	坪 幸子	工藤 麻理	氏家明日香
担当教員	吉田 佑輔	林 昭宏	南部 玲生

高校の情報を掲載した Web サイト

大樹高校 |

検索

大樹高校の最新情報をご覧ください。


<http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>


編集余録

今年も暑い日が続き、三十度を超える日もありました。

学校祭では少しお手伝いしましたが、暑さの中、生徒たちが楽しそうに活動する姿が印象的でした。

笑顔で盛り上げる様子を見て、皆にとって素敵な思い出になったと思います。保護者としても、子供たちの元気な姿に心温まりました。また、三学年探究成果発表会では、生徒たちが大樹町の課題を真剣に考え、新しいアイデアを提案する姿に感動しました。地域の未来をしっかりと見据えた発表は、どれも魅力的で、大樹町の可能性を感じさせるものでした。生徒たちの成長と熱意に、大きな拍手を送りたいと思います。

2年A組 保護者 面尾 良太

令和7年度事業計画

4月 3日 (木)	第1回PTA四役会議 【内容】PTA運営に係る議事について
4月 8日 (火)	1 学年PTA懇談会 (宿泊研修保護者説明会)
4月 26日 (土)	PTA総会
5月 14日 (水)	第2回PTA四役会議 【内容】PTA役員総会に向けて 学校祭への参加・協力について
5月 23日 (金)	高P連十勝支部総会
6月 4日 (水)	PTA役員総会
6月 7日 (土)	北海道高等学校PTA連合大会 (函館市)
～ 8日 (日)	
7月 5日 (土)	学校祭への参加・協力
～ 6日 (日)	
7月 23日 (水)	2 学年見学旅行説明会
9月 27日 (土)	高P連十勝支部研修会
10月上旬	PTAだより「日方川」第138号発行
11月上旬	3 学年PTA懇談会 (自動車運転免許取得保護者説明会)
3月 1日 (金)	PTAだより「日方川」第139号発行